

2016

安全報告書



ひたちなか海浜鉄道株式会社

目次

1. 安全報告書について	3
2. 輸送の安全に関する基本方針	4
3. 安全重点施策と目標	4
4. 安全管理体制	5
5. 事故等の発生状況	6
6. 輸送の安全を確保するための取り組み	6



1. 安全報告書について

ひたちなか海浜鉄道湊線をご利用いただき、ありがとうございます。

安全の確保は輸送の生命であり、安全性の向上を図るとともに安定した輸送サービスを日々提供できるよう社員一丸となって努力しております。

お陰さまで、2008 年 4 月の当社発足時から、有責事故ゼロの記録を継続することができました。

2015 年度は、輸送人員、旅客運輸収入ともに開業以来最高となりましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づいて 2015 年度における輸送の安全を確保するための取り組みや現状について、皆様にご理解いただくために作成いたしました。

ご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせいただきますよう、お願いいたします。

ひたちなか海浜鉄道株式会社

代表取締役社長

吉田 千秋



2. 輸送の安全に関する基本方針

ひたちなか海浜鉄道では、以下の基本方針を定め、輸送の安全を確保に取り組んでいます。

- (1) 安全の確保は輸送の生命である。
- (2) 法令及び規程の遵守は安全の基礎である。
- (3) 執務の厳正は安全の要件である。
- (4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- (5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3. 安全重点施策と目標

(1) 安全重点施策

2015年度は、「安全体制の整備」を重点施策とするとともに、安全目標を設定し取り組んできました。

(2) 安全目標

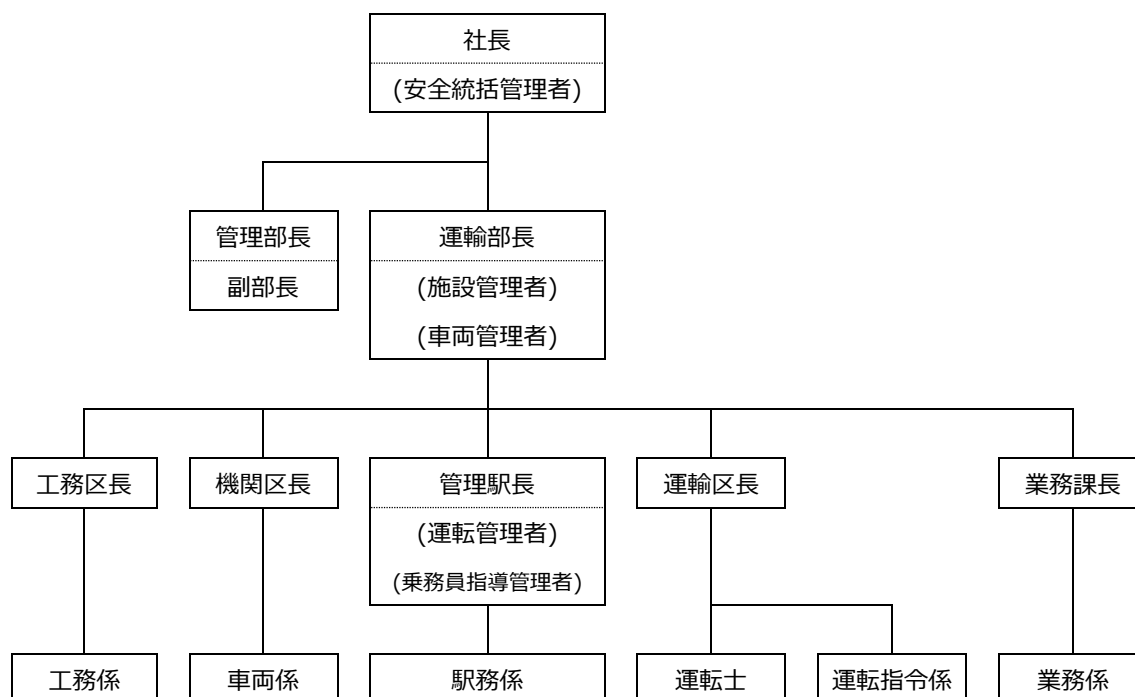
運転事故等 誤扱いによる事故ゼロ

インシデント 発生ゼロ

4. 安全管理体制

社長をトップとする以下の安全管理体制により実施しています。

社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	安全統括管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を統括する
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
運 輸 部 長	安全統括管理者の指揮の下、整備・維持管理計画、その他必要な計画の検討にあたり、総合的に安全性及び実施の可能性について検証を行う
管 理 部 長	投資計画、予算計画、要員計画その他必要な計画の検討にあたり、社員、設備の状況、その他の事項を勘案し、安全性及びその実現性の検証を行う



5. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

誤扱いによる事故はありませんでしたが、踏切事故 2 件発生しました。

日 付	死傷者（うち死亡者）	影 響
平成 28 年 1 月 1 日	1 名（1 名）	上下計 8 本運休
平成 28 年 3 月 18 日	1 名（0 名）	上下計 8 本運休

共に踏切内に自動車が進出し、鉄道車両と接触したものでした。

(2) 輸送障害（30 分以上の遅延または運休）

踏切工事による運休 1 件と列車支障 1 件がありました。

日 付	内容	影 響
平成 27 年 10 月 10 日	踏切工事による運休	上下計 10 本運休、バス代行輸送
平成 27 年 12 月 15 日	車両故障	上下計 2 本運休

(3) インシデント（事故の兆候）

インシデントの発生はありませんでした。

6. 輸送の安全を確保するための取り組み

「春の全国交通安全運動」、「夏季輸送の安全総点検」、「秋の全国交通安全運動」、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」等の機会ごとに事故防止と安全確保のための啓蒙活動を実施しています。交通安全運動においては、行政との連携による交通安全の呼びかけを行い、社会科見学やイベント等で訪れる児童・園児への啓発グッズの配布を実施しています。

施設、設備については、計画的な更新や検査、修繕、改良を行なっています。

安全体制の整備については各種規程類の整備を行うとともに社員に対する教育訓練を実施しました。

(1) 2015 年度に実施した工事・検査等

① 車両購入

JR 東海および東海交通事業よりキハ 11 形を計 3 両購入し、旧型車との置き換えを行いました。これにより、列車全体がスピードアップし、より利便性の高いダイヤでの運行が可能になりました。また、同時に全車両が冷暖房装備となり、より快適にご乗車いただけるようになりました。



キハ 11 形

② 表町通踏切改良工事

表町通踏切において、踏切設備と軌道の改良工事を行いました。視認性向上のため、警報灯をオーバーハング（吊り下げ式）化しました。また、レールを重軌条化、道路との交差部を連接軌道化したことにより、軌道安定性が向上し、路盤が強化されました。



警報灯オーバーハング化

(左：工事前 右：工事後)



連接軌道化・重軌条化

(左：工事前 右：工事後)

③ 砂塵防護柵設置・道床交換

平磯駅～磯崎駅間に砂塵防護柵を設置しました。風で砂塵が舞い上がっても、軌道上に入りにくくなり、より安全に列車運行を行うことができます。あわせて、同区間の道床交換も行いました。



砂塵防護柵設置
(左：設置前 右：設置後)

④ PC 枕木化

一部区間の枕木を PC 枕木へと交換しました。PC 枕木は耐久性が高く耐用年数も長いいため、軌道安定性を向上させると同時に、メンテナンス負担の軽減になります。木の枕木の残る他の区間についても、PC 枕木化を計画しております。



PC 枕木化
(左：交換前 右：交換後)

⑤ 阿字ヶ浦駅 ATS（自動列車停止装置）の更新・新設

阿字ヶ浦駅の誤出発防止用 ATS 機器を、S 形から即時停止機能のある Sn 形へ更新しました。また、線路終端部にも、列車の過走防護用に ATS 地上子を新設しました。こちらは同じく終端駅である勝田駅にも設置を計画しています。



阿字ヶ浦駅 ATS 機器更新 S 形→Sn 形

(左：工事前 右：工事後)



阿字ヶ浦駅終端部 過走防護用 ATS 地上子新設

(左：設置前 右：設置後)

⑥ 車両の全般検査の実施

全般検査とは、自動車でいうところの車検、いわゆるオーバーホールです。2015 年度は、6 年の検査周期を迎えた 2 両について全般検査を行いました。

(2) 各種教育訓練の実施

- ・専門家を招いて、社員に対する安全講習を行いました。
- ・関東鉄道株式会社主催の災害等緊急時対応の講習に参加いたしました。



日、出づる道。

ひたちなか海浜鉄道株式会社

連絡先

本報告書のご意見、ご感想をお待ちしております。

ひたちなか海浜鉄道株式会社 運輸部業務課

TEL : 0 2 9 - 2 1 2 - 8 0 2 3

E-mail : kanri@hitachinaka-rail.co.jp